

北薩感染症情報

2019年第45週(11月4日～11月10日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
 E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値	定点報告数		前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	81	57	8.14	↓	-	1	16	3.20	↗	-	
小児科定点	RS	-	-	-	9	1	0.25	↓	-	5	3	1.00	↓	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	3	1	0.25	↓	-	1	2	0.67	↗	-	
	A群溶血性 レンカ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	5	5	1.25	→	-	8	5	1.67	↓	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	25	11	2.75	↓	-	1	6	2.00	↗	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	3	-	-	↓	-	4	9	3.00	↗	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	10	15	3.75	↗	◎	-	-	-	→	-	
	突発性発疹	-	-	-	4	1	0.25	↓	-	-	3	1.00	↗	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	2	8	2.00	↗	-	1	-	-	↓	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	1	1.00	↓	-	/	/	/	/	/	
高齢者定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	/	/	-	/	/	/	/	-		
報告数合計		-	-	-	144	102	/	↓	/	21	44	/	↗	/	

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 伝染性紅斑の警報が12週連続継続中。
 ・出水保健所管内 警報・注意報はありません。

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 日本紅斑熱(患者1人)
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

(注意)川薩保健所管内のインフルエンザの報告が定点あたり「8.14」と、流行発生注意報基準「10」を下回りましたが、今後も感染の予防に努めてください。

(注意)川薩保健所管内で「伝染性紅斑」の
警報が12週連続発令中です。

○伝染性紅斑について

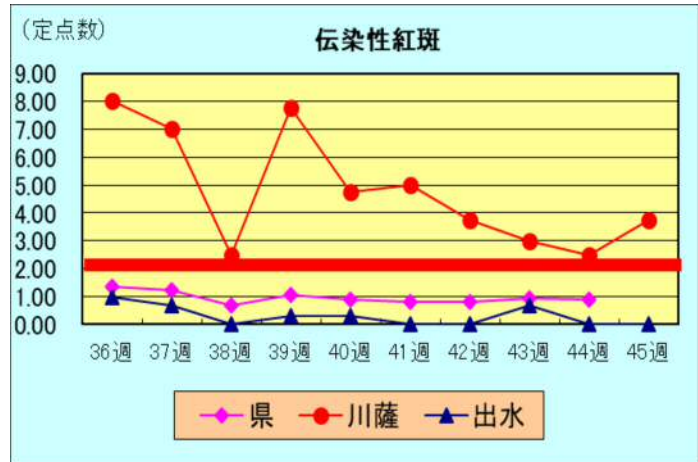
【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

(第45週は川薩・出水のみ掲載)

第45週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、**15名**(定点あたり報告数**3.75**)の報告がありました。

12週連続の警報です。引き続き感染の予防をお願いします。

出水保健所管内からは報告がありませんでした。



伝染性紅斑とは、ヒトパルポウイルスB19を病原体とし、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれています。

【臨床症状】

特徴的な症状は、感染後10～20日の潜伏期間を経て出現する両頬の境界鮮明な紅斑であり、続いて腕、脚部にも両側性に網目状・レース様の発疹がみられる。

また、感染後約1週間で、約半数にインフルエンザ様症状（倦怠感、発熱、筋肉痛、鼻汁、頭痛など）などを呈することがある。

基本的には、予後良好であるが妊婦が感染すると、垂直感染を呈し、流産や死産、胎児水腫を起こすことがある。

※垂直感染とは、病原体が親から直接その子孫に伝播される感染様式のこと。

【感染経路】

通常は飛沫感染もしくは接触感染である。

【予防法】

一般的な予防対策として、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけることが重要です。現在のところワクチンはない。妊婦は感冒様症状の患者に近づかないようにしましょう。



りんご病影響、妊婦への感染注意...



りんご病（伝染性紅斑）

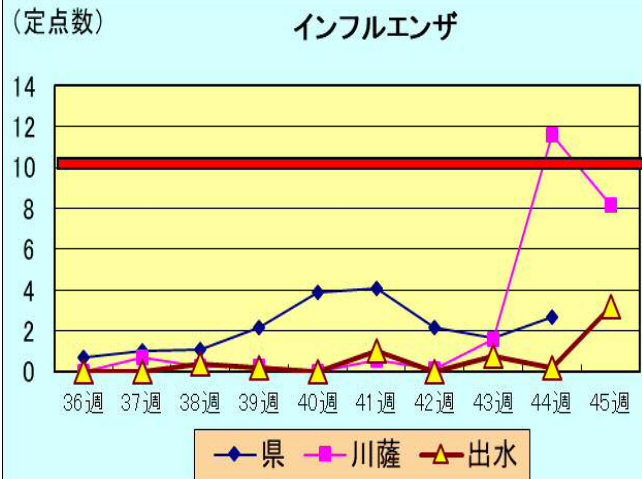
(注意) 川薩保健所管内は、インフルエンザの流行発生注意報基準を下回りましたが、県平均よりも高い状況ですので、今後も引き続き感染の予防に努めてください。

(第45週は川薩・出水のみ掲載)

第45週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所からは**57名**(定点あたり報告数**8.14**)となり、「**インフルエンザ流行発生注意報の基準である10.0**」を下回りました。

出水保健所からは16名(定点あたり報告数3.20)であり、今後も感染予防に努めてください。

下記の内容を参考に予防に努めてください。



◎ 特徴と対策について

「重症化して合併症を引き起こす、いちばん身近な感染症」

○ インフルエンザの合併症は死に至る場合も

特に高齢者にとって、インフルエンザは大変危険な病気です。抵抗力が弱い高齢者や乳児、持病のある人は、肺炎を併発し、最悪の場合は死に至る場合もあります。

○ インフルエンザの予防法

- ・手洗い、マスク、予防接種
(飛沫感染、接触感染の予防)

○ インフルエンザにかかってしまったら

- ・すみやかに受診
- ・自宅療養の注意点
家族への感染を防ぐため、なるべく家族から離れた個室で療養し、マスク着用、部屋の換気を行うことが重要です。

○ 咳エチケットも「うつさない」「うつらない」ための重要なマナー

咳やくしゃみがでるときには、ティシュペーパーなどで鼻と口を押さえることが重要です。

※ 厚生労働省インフルエンザ啓発ツールヘリンクしています。



インフルエンザの感染を防ぐポイント...



インフルエンザ予防接種...